

「破れをふさぐ」 ～中途半端はためため～

マタイ 5:48

Ⅱコリント 5:14～17

「まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。」(詩23:6) このみことばどおり、イエス様とともに歩んでいる人は幸せいっぱいのはずです。あなたは今そうなっていますか。前ばかり後ろばかりではなく、周りをしっかり見ているでしょうか。その上であなたは自分の目的がわかっているでしょうか。進む先がわかっているれば私たちの人生の旅路は楽しいはず。あなたが行く先を知った上でどのように歩むべきか考えるべきです。(エゼキエル13:5) 今回の聖書の箇所にはしっくいが出てきます。これは日本家屋の壁に使われるもので、壁の材料としては適度に湿度を保つことのできる本来は素晴らしいものです。しかし、ここでは、根本を直さずに上塗りをするものとして出てきます。つまりここで問題なのは、根本の問題を解決しないで上塗りをしているということです。そしてしっくいと破れ口がセットになっています。破れ口をふさがなかった人が上塗りをしているのです。いざというとき備えがないので、問題がきたときに解決できないのです。知らないということ、備えていないということは、とてもこわいことです。あなたは自分の幸せをとりさってきた自分の破れ口を知っていますか。破れ口をしっかりと防いでいるか、一時の方法で適当に防いでいるかで、ずいぶん違うのです。あなたがしっかりと周りを考え、いざという時に対処するのではなく、あらかじめ備えておくことが大切なのです。あなたの人生の中で何が備えられていないか、何が破れ口になっているのか、つまり何に負けてしまうのか知ってください。弱さを知っていて対処しているならよいでしょう。しかし弱さを知っているのに何もしていないのならだめです。とても頑丈で強いガラスでも1カ所を叩けば簡単に割れてしまいます。私たちの敵も、私たちの生活の全てを攻撃しません。私たちの弱い部分を1カ所攻撃してきます。あなたは自分の心の内をしっかりと見張っていますか?何も問題が無いときは大丈夫というのは違います。「罪は戸口で待ち伏せして、あなたを恋い慕っている。」(創4:7) こういう時こそ敵は狙ってくるのです。私たちは弱さをつかれと流されてしまいやすいのです。聖書に出てくるカインは差をつけられることに弱さがありました。またレンズ豆で弟に長子の権利を売ってしまったエサウは、食に弱かったのです。誘惑、押し、人の言葉、面倒くささなど、自分の弱さに気づいてください。あなたの祝福を取られないために**①何が正しいかを知る**。これを知らないとあなたの祝福は取られてしまいます。ある程度知っていてはダメなのです。全てを知る事が大切なのです。正しい事を知り、対処法を知っていないと備える事ができません。弱さがわかればそれについて対処方法を備える事ができます。上塗りをしているから、しっかりと備える事ができないのです。問題があるのに無いような顔をして対処しないで上塗りする事がダメなのです。弱さに対して正しい対処を考えておけば問題はないのです。イエス様に聞いてください。上塗りをしないでしっかりと対処してください。本当の悔い改めるとは問題に対して正しい事を知り対処法を備える事が悔いて改める事になるのです。**②しっかりと見張る**。あなたの頭の中にあることだけに目が向いていませんか?1カ所を見てはいけません。私たちに与えられるもの(家族、お金など)は私たちが神様とともに歩むパートナーでなければなりません。聖書の中には、泥棒が来るときに「目を見張る」というたとえが出てきます。つまり自分を見張っているといっているのです。しっかりと自分を見張ってください。偏ったものだけに目が向いていては自分を見張る事はできません。罪は弱いところからやってくるのです。罪は戸口であなたを恋慕っています。あなたの弱さを見張って下さい。「自分の口を見張る者は自分のいのちを守り、くちびるを大きく開く者には滅びが来る。」(箴13:3)「あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人々は神に弁明する者であって、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。」(ヘブル13:17) あなたに対して助言される言葉があればそれに耳を傾けてください。また「あきらめ」は信仰を失わせます。「あきらめ」が起きていないか見張ってください。神が自分か悪魔の声か聞こえてくる言葉が誰の言葉かも見張ってください。問題の中には見えません。問題の渦中から一步外へ出て問題をあらゆる面から見張って下さい。**③完、仕上げ**。中途半端ではいけません。問題に対してしっかりと完結させ仕上げる事が大切です。半端だから何回でも繰り返すのです。私たちは、中途半端同士、中途半端加減で競争しています。これでは差もなく意味もありません。その都度完成してください。そのために、仕上げをしてください。一つ手を加えるだけで完成できるのに、光輝くのに、この仕上げを「まっいいか」と言ってしないのです。きちんと仕上げていますか。最後が見いだせない生き方では意味がありません。イエス様は行き当たりばったりの事を語っておられません。今の私たちの生き方は明日のことばかり考えていませんか?「だから明日のための心配は無用です(マタイ6:34) 次のことをしっかりと考えておかなければいけないのです。ぜひあなた自身をしっかりと見張ってください。そしてやっていることを中途半端に仕上げないで完成させて下さい。油断や破れ口があってはいけません。そこからあなたの祝福が「すべて」無くなってしまいます。小さな1つの穴から全てを失ってしまうのです。そんな事があってはならないのです。自分の破れ口が何なのか、しっかりと見張り、その破れ口を塞ぎましょう。